

社会医学実習2：法医学

月 日	曜 日	時 限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項	事前学習
				氏名	所属		
6.25	火	IV V VI	DNA鑑定・血縁関係の証明・血液型（実習講義）	向井 敏二 呂 彩子 千葉 正悦 鷺 盛久(非) 林田 真喜子(非) 黒崎 久仁彦	法医学 〃 〃 〃 〃 東邦大学	1. 性別判定に利用するアメロゲニン遺伝子の特徴 2. DNAを用いた親子鑑定法 3. ミトコンドリアDNAを用いた親子鑑定法 4. 血縁関係の証明が必要とされる状況 5. DNA型の遺伝形式の特徴 6. ABO式血液型とその亜型の特徴	・長い世代にわたる血縁関係(家系)を証明した実例を調べる。 ・ABO式血液型の型物質について調べる。
7.2	〃	〃	血液型検査	向井 敏二 呂 彩子 千葉 正悦 鷺 盛久(非) 林田 真喜子(非) 鉄 堅 飯酒益 勇	法医学 〃 〃 〃 〃 日本大学 〃	1. ABO式・Rh式血液型検査法 2. 血痕からのABO式血液型検査法（解離試験） 3. 交差適合試験法	・実習プリントを事前に通読する。 ・血液型判定時の「凝集反応」について調べる。 ・交差適合試験法及びその目的を調べる。
7.9	〃	〃	死因究明制度（実習講義）	向井 敏二	法医学	1. 我が国の死因究明制度の概略とその問題点 2. 異状死体の概要と異状死ガイドライン 3. 警察による検視（行政・司法）について 4. 死体検査、法医解剖（司法・行政・承諾）について 5. 死亡診断（書）と死体検査（書）の相違点 6. 医療事故調査制度の成り立ちとその概略	・講義資料を通読する。
7.16	〃	〃	死亡診断書・死体検査書の書き方	向井 敏二 呂 彩子 鷺 盛久(非)	法医学 〃 〃	1. 死亡診断書と死体検査書の区分 2. 死因、死因の種類の判断と記載方法 3. 死亡診断書・死体検査書の記載ルール	・実習講義「死因究明制度」を復習する。
7.23	〃	〃	死体取扱いの実際	向井 敏二 呂 彩子 千葉 正悦 鷺 盛久(非)	法医学 〃 〃 〃	1. 死亡診断後に行われる異状死か否かの判断（A検査） 2. 異状死と判断された場合の警察への届出（医師法第21条） 3. 検視の補助手段として死因特定等を目的とした検査（B検査） 4. 臨床医による死亡診断書・死体検査書の発行	・患者死亡から死亡診断書・死体検査書作成に至る「死体取扱い」の総括実習である。 実習講義「死因究明制度」および実習「死亡診断書・死体検査書の書き方」を復習する。